

【結果】

鹿島高校生による

# 誰一人取り残さない「スマホ相談会」



令和7年8月8日

主催：鹿島市役所 DX推進室

講師：鹿島高校生

協力：一般社団法人鹿島デジタル社会推進協会

# 「鹿島高校生による 誰一人取り残さない『スマホ相談会』」とは

## 目的

市民の皆さんがデジタルをより身近に感じられる環境づくりを進めるために、スマホの基本操作、てのひら市役所(市公式LINE)やカメラの使い方などの相談ができる『スマホ相談会』を鹿島高校と連携して開催。



と き		と ころ
8月4日(月)	9:00~12:00 13:00~16:00	市民交流プラザ かたらい 3階 交流スペース
8月5日(火)	9:00~12:00 13:00~16:00	
8月6日(水)	9:00~12:00 13:00~16:00	



講師は、**鹿島高校生** です！

- └ 「鹿島さいこうプロジェクト」発案！
- └ デジタルに早くから親しんでいる！



# 結果 | 「鹿島高校生による 誰一人取り残さない『スマホ相談会』」

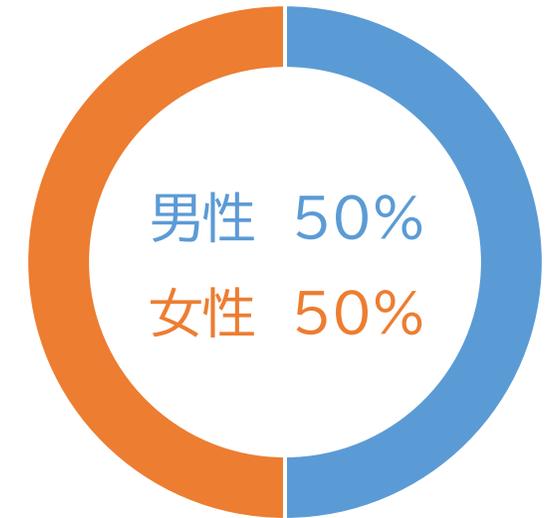
## 相談者数

日にち	相談者数
8月4日(月)	33人
8月5日(火)	42人
8月6日(水)	28人
合計	103人

## 年代・性別

主に

60～80代



## 相談内容



- 不要なアプリの消し方、整理の仕方
- てのひら市役所のより便利な利用方法
- アプリのポイントの使い方
- LINEグループの作り方
- 「さがとこ」の位置情報の連携 など

# 結果 | 「鹿島高校生による 誰一人取り残さない『スマホ相談会』」

## 当日様子



## メディア掲載

### ▼ 令和7年8月8日(金)佐賀新聞

スマホの困り事、鹿島高生が解決 相談会にお年寄りら100人「教えてもらって助かった」

2025/08/07 20:03

矢野耕平

鹿島高の生徒が講師を務めるスマートフォンの相談会が4～6日、鹿島市高津原の市民交流プラザで開かれた。100人を超えるお年寄りらにアプリの操作や写真の撮り方などを教え、スマホに関する質問に答えた。

地域課題の解決を目的に同校と鹿島市が取り組む「鹿島さいこう！プロジェクト」の中で、デジタルの得手不得手が生活の利便性を左右すると考えた生徒が相談会を発案した。市や鹿島デジタル社会推進協会の協力を受けて実施し、1～3年生約50人が参加した。

赤い法被姿の生徒がアプリの使い方を説明し、パスワードを忘れた場合の対応などの質問に答えた。来場者からは「丁寧に教えてもらって助かった」「孫世代の子たちに話を聞いてもらえたい、困り事も解決できた」との感謝の声が上がった。

3年の永尾治慎（はるちか）さんは「自分では分かっていることでも、人に説明するのは難しかった。地元での生活を便利にする手伝いができるかな」と話した。（矢野耕平）



画像を拡大する

来場者（右）にスマホの使い方を教える鹿島高生＝鹿島市の市民交流プラザ



画像を拡大する

相談会には3日間で100人以上が来場し、アプリの操作や写真の撮り方などを学んだ

### ▼ 令和7年8月5日(火)サガテレビ



# 評価・今後 | 「鹿島高校生による 誰一人取り残さない『スマホ相談会』」

## 相談者の声



- ・ **てのひら市役所(市公式LINE)**をより便利に使うことができるようになった！
- ・ 丁寧にわかりやすく教えてもらって**本当に助かった**
- ・ **このような場が欲しかった**。家族に聞けないことも気軽にきけて良かった
- ・ 孫世代の子どもたちにお話を聞いていただき、困っていることも解決して、感謝しかない
- ・ 自分の武器(スマホ)になり、褒めてもらい**自信がついた**

## 高校生の声



- ・ 教えるのが難しかったけど、**地域の実情が分かって良かった**
- ・ 「ありがとう」をたくさん言ってもらって、**やりがいがあった**
- ・ いろんな人がいて、お話しするのが**楽しかった**
- ・ 自分が無意識で行っていることを、わかりやすく言語化することが**勉強になった！**

- ✓ 市民の需要と高校生の良い体験になることが分かり、世代間交流の創出および地域課題の解決に繋がることが実感できた
- ✓ 今後も、継続的に開催する予定（可能であれば、令和8年1月上旬に開催する方向で調整中）